

関係各位

2021年6月28日

株式会社パテント・リザルト

【エンジニアリング業】他社牽制力ランキング 2020

トップ3は栗田工業、JFEエンジニアリング、オルガノ

弊社はこのほど「エンジニアリング業業界」を対象に、2020年の特許審査過程において他社特許への拒絶理由として引用された特許件数を企業別に集計した「エンジニアリング業業界 他社牽制力ランキング 2020」をまとめました。この集計により、直近の技術開発において競合他社が権利化する上で、阻害要因となる先行技術を多数保有している先進的な企業が明らかになります。

集計の結果、2020年に最も引用された企業は、1位 栗田工業、2位 JFEエンジニアリング、3位 オルガノとなりました。

【エンジニアリング業業界 他社牽制力ランキング 2020 上位10社】

順位	企業名	引用された特許数
1位	栗田工業	295
2位	JFEエンジニアリング	287
3位	オルガノ	147
4位	東芝プラントシステム	109
5位	日立パワーソリューションズ	99
6位	日鉄エンジニアリング	90
7位	神鋼環境ソリューション	81
8位	メタウォーター	76
9位	水King	69
10位	東レエンジニアリング	67

【ランキングの集計対象について】

日本特許庁に特許出願され、2020年12月までに公開されたすべての特許のうち、2020年1月から12月末

までの期間に拒絶理由（拒絶理由通知または拒絶査定）として引用された特許を抽出。

本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2021年5月1日の時点で権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる可能性があります。

なお業種は、総務省の日本標準産業分類を参考に分類しています。

1位 **栗田工業**の最も引用された特許は「低い操作圧で効率よく膜分離を行い、低エネルギー量で高濃度の濃縮液を得られる膜分離方法および装置」に関する技術で、東洋紡の5件の審査過程で引用されています。このほか、「重金属錯体含有排液の処理方法」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、東ソーの「ニッケル含有水溶液の浄化方法」の4件の拒絶理由として引用されています。

2020年に、栗田工業の特許によって影響を受けた件数が最も多い企業はオルガノ(31件)、次いで住友重機械エンバイロメント(11件)、東芝(10件)となっています。

2位 **JFEエンジニアリング**の最も引用された特許は「廃家電製品の処理方法」に関する技術で、JFEスチールなどの計3件の審査過程で引用されています。このほかには「水の脱塩処理方法および装置」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、大阪ガスとKRIの計2件の拒絶理由として引用されています。

2020年に、JFEエンジニアリングの特許によって影響を受けた件数が最も多い企業は日本製鉄(13件)、次いでJFEスチール(12件)、川崎重工業、日立造船(いずれも5件)となっています。

3位 **オルガノ**の最も引用された特許は「石炭ガス化排水の処理システム」に関する技術で、三菱環境パワーソリューションの「排水処理システムおよびそれを備えた石炭ガス化発電設備」関連など計3件の審査過程で拒絶理由として引用されています。

2020年に、オルガノの特許によって影響を受けた件数が最も多い企業は栗田工業(27件)、次いで東芝、東芝インフラシステムズ(いずれも4件)となっています。

4位 **東芝プラントシステム**は「マイクログリッドの電力需給調整システム」、5位 **日立パワーソリューションズ**は「機械設備の外部環境が大きく変動しても、適切に異常予兆の有無を診断する異常予兆診断装置」が、最も引用された特許として挙げられます。

* * *

また弊社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

【エンジニアリング業業界 他社牽制力ランキング 2020 データ】

▶納品物：以下のデータを収納した CD-ROM

- ・ランキング トップ 30 社：本業界の被引用件数上位 30 社のランキング
- ・被引用件数 トップ 100 件：本業界の被引用件数上位 100 特許、及び引用先の特許との対応

▶価格：50,000 円（税抜）

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部営業グループ

TEL : 03-5802-6580 FAX : 03-5802-8271 HP : <https://www.patentresult.co.jp/>